

News Letter

2012年 9月

中国四国農政局
高知地域センター

ダイナミックな鯨の回遊と土佐捕鯨の発祥の地／室戸市

太平洋の大海原を雄大に泳ぐクジラ。高知県の土佐湾沖は、クジラの通り道と知られ、室戸市は、古くは土佐捕鯨発祥の地として栄えた“鯨の町”でした。市内には、クジラの生態と、捕鯨の歴史や文化を分かりやすく紹介した鯨の郷・鯨館があり、その中には、ザトウクジラの全身骨格の標本や捕鯨に使われた道具等100点以上が展示されています。

＝土佐捕鯨の発祥の地で、名物・鯨料理！＝

室戸市で捕鯨が始まったのは、17世紀の江戸時代初期の頃で、以来、土佐の捕鯨の歴史は昭和11年(1936年)まで、約300年間にわたって続けられたとされています。

捕鯨が本格的に始まった当時の捕鯨法は、鉾による「突き取り法」でしたが、その後、鉾と網を併用した「網捕り式捕鯨法」が伝わり、それまで困難だった大型の鯨を捕獲できるようになりました。この捕鯨法は“鯨組”と呼ばれる捕鯨組織によって引き継がれ、山の見張り番の合図と共に、鉾を投げる勢子舟、運搬する持双舟、網舟の捕鯨船が1つの集団となって勇猛果敢に海に漕ぎ出していきました。捕獲された鯨は食べるだけでなく、余すことなく有効活用され、人形や細工物等日本独特の文化や産業を育みました。特に鯨油は、灯りに利用された他、稲作の害虫駆除や油を絞った後の粕は田畑や果樹栽培用の肥料等にも利用されたと言われています。

また、この鯨館の隣のレストラン・食遊では、



『自家製ポン酢で食べ易い
伝統の“鯨料理”』



鯨の刺身や
タタキ、竜
田揚げ、さ
えずりの酢
味噌和え等



(鯨館：マッコウクジラと全長12mの勢子舟)

今では貴重となった“鯨料理”も食べることができます。鯨の赤身刺身やタタキ、竜田揚げなど、捕鯨の町の名物料理(10品)が、豊富な調理方法で提供されています。8月の夏休み期間中には、家族連れや大阪など関西方面からもわざわざ鯨料理を求めて訪れる人も多く、人気の鯨の竜田揚げは「かつて、学校給食で出されていた懐かしい味」と喜ばれ、若い世代からも「鯨料理を初めて食べた」等と好評です。

＝日本人の暮らしに深く関わってきた捕鯨文化＝

室戸市内では鯨ジャーキーや大和煮等の商品が販売されたり、家庭では鯨の鍋料理等が行われ、また、神社の大祭では鯨舟の山車が曳き回される等、海の町ならではの鯨にまつわる食や祭りが数多く残り、現在も鯨が暮らしの中に受け継がれていることがうかがえます。

鯨館では「室戸は漁業が盛んな町。カツオ・マグロ漁、今は“室戸キンメ丼”の金目鯛漁が盛んですが、この水産業の基盤は鯨がきっかけであり、私達日本人の日常生活に深く関わりながら、様々な捕鯨文化を生み出しました。鯨と町の歴史を振り返るとともに、鯨の捕鯨文化を後世に伝えていきたい。そして、人と鯨の新しい関わりを見つめ、考えていきたい」としています。

丘近くが深い室戸沖の海では、ダイナミックな鯨の回遊を見ることができます。毎年7月中旬には、捕鯨船の勢子舟を再現した「土佐室戸鯨舟競漕大会」も行われます。

四国地域野生鳥獣対策ネットワーク総会・意見交換会の開催



(四国地域野生鳥獣対策ネットワーク)

7月11日、四国地域野生鳥獣対策ネットワークの総会及び意見交換会が高知市内で開催され、四国各県と市町村、鳥獣被害防止機材業者など関係者約70名が参加し、平成24年度の活動方針及び計画等について話し合いが行われました。

野生鳥獣による農林業の被害は、農林業者の生産意欲の減退や耕作放棄地の増加など農山村に深刻な影響を与え、その被害は拡大傾向となっています。22年度の野生鳥獣による農作物被害額は、全国で約239億円(対前年12%増)、中国・四国地域では約32億円(対前年比27%増)となっています。イノシシによる被害が54%と高く、特に四国地域ではシカによる被害が増加し、四国4県の共通した課題となっています。意見交換のなかでは「剣山山系におけるニホンジカ捕獲」「各県における鳥獣被害防止対策の取組」について事例発表等が行われました。鳥獣被害防止総合対策では、24年度から、従来の対策に加え、地域における鳥獣被害対策の担い手確保とともに、市町村・農林業団体・狩猟者・農林業者からなる鳥獣被害対策実施隊に重点的に支援し、対策の実効性を高めることとしています。

「夏休み親子米粉パン教室」が行われました。

高知県米粉推進連絡会は8月2日、高知市内のマルサンコミュニケーションプラザマルコで「夏休み親子米粉パン教室」を開催しました。

『高知のお米でパンを作ろう!』をテーマに、子ども達に新しい食材として注目を集めている米粉の良さを知って頂くとともに、親子で地産地消を楽しく学べるように企画されました。高知県米粉推進連絡会会員で、マルコ教室室長の岡内さんをパン作りの講師として迎え、小学生の親子8組20名がアンパンマンやドラえもん等のキャラクターパン、焼きドーナツ等を作りました。

試食では、子ども達は、「温かく、モチモチして美味しい」と話しながら出来たてのパンをほお張り、楽しい夏休みの思い出となりました。

【 米粉に関する問い合わせ先 】

中国四国農政局高知地域センター

戸別所得補償チーム TEL 088-875-2151



(親子米粉パン教室)

「平成24年産水稻の作柄概況・8月15日現在(高知県)」



＝早期栽培の作柄は作況指数「98」、普通栽培の生育は「平年並み」の見込み＝

水稻の作柄概況調査は、稲の生育段階に応じて調査しており、高知県では、早期、普通栽培の作期別に取りまとめを行っています。

【調査結果の概要】

高知県における8月15日現在の水稻の作柄及び生育は、早期栽培の10a当たり予想収量は「469kg」、作況指数は「98」と見込まれています。また、普通栽培の生育は「平年並み」で推移しています。



編集:中国四国農政局 高知地域センター

〒780-0870 高知市本町4丁目3-41 高知地方合同庁舎

TEL(088)875-2151 FAX(088)820-0202 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>